6　第一項のPFEは、次の算式を用いて算出する。

$$\mathrm{PFE}=\mathrm{multiplier}\times\mathrm{AddOn}^{\mathrm{aggregate}}$$

$$\mathrm{multiplier}=\min\left\{1,\ 0.05+(1-0.05)\times\exp\left(\frac{\mathrm{V}-\mathrm{C}}{2\times(1-0.05)\times\mathrm{AddOn}^{\mathrm{aggregate}}}\right)\right\}$$

$$\mathrm{AddOn}^{\mathrm{aggregate}}=\mathrm{AddOn}^{(\mathrm{IR})}+\mathrm{AddOn}^{(\mathrm{FX})}+\mathrm{AddOn}^{(\mathrm{Credit})}+\mathrm{AddOn}^{(\mathrm{Equity})}+\mathrm{AddOn}^{(\mathrm{Com})}$$

$\mathrm{AddOn}^{(\mathrm{IR})}$は、金利デリバティブに係るアドオン

$\mathrm{AddOn}^{(\mathrm{FX})}$は、外国為替デリバティブに係るアドオン

$\mathrm{AddOn}^{(\mathrm{Credit})}$は、信用デリバティブに係るアドオン

$\mathrm{AddOn}^{(\mathrm{Equity})}$は、エクイティ・デリバティブに係るアドオン

$\mathrm{AddOn}^{(\mathrm{Com})}$は、コモディティ・デリバティブに係るアドオン

7　前項の規定により第一項のPFEを算出する場合において、ネッティング・セットに含まれる取引は、次の各号に掲げる当該取引のリスク・ドライバー（当該取引の時価に影響を及ぼす主な要因をいう。以下この項において同じ。）に応じ、当該各号に定める取引に割り当てるものとする。ただし、当該取引が複数のリスク・ドライバーを有する場合には、当該各号に定める複数の取引に同時に割り当てることができる。

一　金利の変動等　金利デリバティブ

二　外国為替の変動等　外国為替デリバティブ

三　原債務者に係る信用状態の変動　信用デリバティブ

四　株価の変動等　エクイティ・デリバティブ

五　コモディティ価格の変動等その他前四号に掲げるリスク・ドライバー以外の変動等　コモディティ・デリバティブ

8　前項各号に定める取引に割り当てた取引は、次の各号に掲げる取引の区分に応じ、当該各号に定めるヘッジセットに割り当てるものとする。

一　金利デリバティブ　同一通貨の金利を参照する金利デリバティブごとに設けられたヘッジセット

二　外国為替デリバティブ　同一の異種通貨間の為替レートを参照する外国為替デリバティブごとに設けられたヘッジセット

三　信用デリバティブ　一の区分のヘッジセット

四　エクイティ・デリバティブ　一の区分のヘッジセット

五　コモディティ・デリバティブ　エネルギー、金属、農産物その他のコモディティ等を参照するコモディティ・デリバティブごとに設けられたヘッジセット

9　前項の規定にかかわらず、ベーシス（同一通貨の異なるリスク・ファクター（当該取引の時価に影響を及ぼす要因をいう。以下この項及び第七十九条の三の三において同じ。）間の差異をいう。）を参照する取引については、前項に掲げる取引の区分ごと及びリスク・ファクターの同一の組合せごとに設けられたヘッジセットに、当該取引を割り当てるものとする。

10　前二項の規定にかかわらず、ボラティリティを参照する取引については、第八項各号に掲げる取引の区分ごとに、同項各号に定めるヘッジセットと別に設けられたヘッジセットに当該取引を割り当てるものとする。

（注3）　ファースト・トゥ・デフォルト型クレジット・デリバティブについては、プロテクションの対象とする複数の資産のうち最も信用リスクの高い資産に基づいて原債務者の種類を定めるものとする。セカンド・トゥ・デフォルト型クレジット・デリバティブについては、プロテクションの対象とする複数の資産のうち二番目に信用リスクの高い資産に基づいて原債務者の種類を定めるものとする。これらの規定は、クレジット・デリバティブのうち、複数の資産をプロテクションの対象とし、当該プロテクションは当該複数の資産のうち、あらかじめ特定された順位において信用事由が発生した資産に対してのみ提供されるとともに契約が終了するものについて準用する。

二　法的に有効な相対ネッティング契約下にある取引については、次の算式により得られた額（ネットのアドオン）とすることができる。

$$\text{ネットのアドオン}=0.4\times\text{グロスのアドオン}+0.6\times\frac{\text{ネット再構築コスト}}{\text{グロス再構築コスト}}\times\text{グロスのアドオン}$$